

【学校名 月形町立月形中学校】

1 授業時数特例校制度導入の考え

(1) 実施の目的

変化が激しく予測困難な現代社会（いわゆる VUCA の時代）において、生徒一人一人が主体的に課題を発見し、解決しながら自己実現を図る力を育成することを目的として、授業時数特例制度を導入する。

そのため、従来の「教師が教える」ことを中心とした授業観から、「生徒が主体的に学ぶ」学習観への質的転換を図り、探究的な学びを中核とした教育課程の編成を行う。

【教育目標】

個の能力を伸ばし、自立して社会形成者となるための資質能力を養う教育の推進

【目指す生徒像】

- ・知識と教養を身に付け真理を求める生徒
- ・豊かな情操と道徳心をもつ生徒
- ・健やかな身体をもつ生徒
- ・地域を理解し 住みよいまちづくりの担い手となる生徒

【育成すべき資質・能力】

- ・確かな学力を身に付け、自ら自己実現を図る力
- ・多様な可能性を引き出し、主体的に学び続ける力
- ・課題を発見し、情報を収集・分析し、他者と協働して解決する力
- ・ICT 等を活用しながら、学びを自らデザインする力

(2) 解決を図る学校課題

R-PDCA サイクルに基づく実態把握の結果、以下のような課題が明らかとなっている。

【現状の課題（生徒の実態）】

- ・授業内容の難しさに対する負担感（40.5%）
- ・学校における人間関係のストレス（40.5%）
- ・学習内容について深く考える時間の不足（21.4%）
- ・対話的・協働的な学びの機会の不足（14.3%）
- ・家庭学習における ICT 活用の低さ（約 70%未活用）

また、生徒からは以下のような要望が挙げられている。

- ・休み時間や交流の充実
- ・テスト前や日常的な「考える時間」「自習時間」の確保

【具体的方策】

課題解決のため、本校では以下の取組を推進する。

ア 探究的な学びの創出

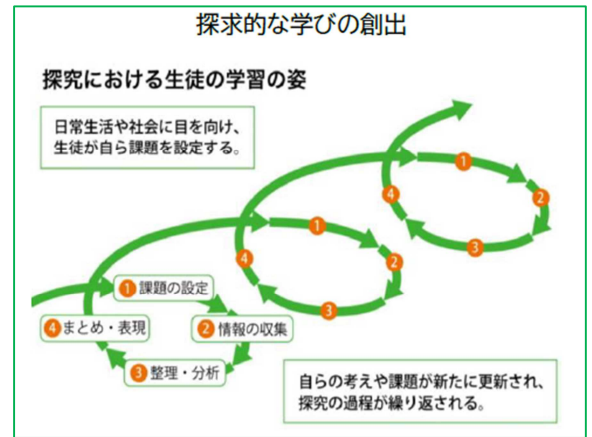
- ・日常生活や社会に目を向け、生徒自らが課題を設定する力を育成する。
- ・「課題設定 → 情報収集 → 整理・分析 → まとめ・表現」という探究サイクルを繰り返すことで、思考の更新と課題解決能力の向上を図る。

イ 学びの質的転換

- ・「問い」から始まる学習を重視し、生徒が自ら学びをプロデュースする授業へ転換する。
- ・短時間で集中力を高める授業設計とすることで、学習効率と主体性の向上を図る。

ウ ICT の積極的活用

- ・授業内外で ICT 端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを両立する。



(3) 保護者・地域への周知

授業時数特例制度の導入にあたっては、以下の方法により周知を行う。

- ・令和7年4月30日の学校だよりによる情報発信
- ・令和7年12月8日における学習成果発表の公開および情報発信
- ・令和8年3月18日における学習成果発表の公開および情報発信
- ・令和8年4月9日開催のPTA総会時に、学校長より今年度の学校経営方針について説明

2 各教科等年間授業時数

本校では、探究的な学びの充実を図るため、以下のとおり授業時数の特例を設定している。

- ・第1学年および第2学年においては、国語、社会、数学、理科、外国語の各教科からそれぞれ5時間（合計25時間）を削減し、その時間を総合的な学習の時間に充当する。
- ・第3学年においては、同様に各教科からそれぞれ2時間（合計10時間）を削減し、総合的な学習の時間に充当する。

これにより、総合的な学習の時間を中核として、教科横断的・探究的な学びを推進し、生徒が自ら問いを立て、主体的に学びを深める教育課程を実現する。

学年		第1学年	第2学年	第3学年	
各 教 科 の 授 業 時 数	国語	140	140	105	
		135(-5)	135(-5)	103(-2)	
	社会	105	105	140	
		100(-5)	100(-5)	135(-5)	
	数学	140	105	140	
		135(-5)	100(-5)	135(-5)	
	理科	105	140	140	
		100(-5)	135(-5)	135(-5)	
	音楽	45	35	35	
	美術	45	35	35	
	保健体育	105	105	105	
	技術・家庭	70	70	35	
	外国語	140	140	140	
		135(-5)	135(-5)	135(-5)	
	特別な教科である道徳の授業時数		35	35	35
	総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
			75(+25)	95(+25)	80(+10)
	特別活動の授業時数		35	35	35
合計		1015	1015	1015	
学校行事		31	31	28	
生徒会活動		23	23	23	

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [1062時間] 余剰時数 [47時間]
 第2学年の余剰を含めた総授業時数 [1061時間] 余剰時数 [46時間]
 第3学年の余剰を含めた総授業時数 [1026時間] 余剰時数 [11時間]